

事務事業名		市民後見推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	地域支援事業係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	4855	一般	3	1	3	市民後見推進事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～ 年度		根拠法令 条例等	老人福祉法				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		任意的事業・義務的事業			義務的事業		
	実施方法		直営		事業分類		人材育成事業			
リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		2-9				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
平成23年6月の老人福祉法の改正により、市町村の努力義務として、成年後見等に係る体制の整備を行うことが規定され、平成24年4月1日から施行となった。 それにより、市町村は、市民後見人の育成及びその活用を図るため、市民後見人を養成し、その支援体制を構築していくことが必要となったが、成年後見制度について、まだよく知られていない現状であるため、制度についての理解を深めることが必要であり、成年後見制度や市民後見人についての研修会(初級編)を開催する。		平成26年度では、成年後見制度・市民後見人研修会(初級編)を、平成27年1月から2月にかけて、全6回で開催。講師は、社会福祉士、司法書士等。						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
市長申立件数		件	-	1	5	5	5	
認知症に関する相談件数		件	-	763	650	650	700	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
①一般市民 ②市民後見人に関心がある人		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		成年後見制度等研修会申込者数	人	-	21	30	40	40
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
①成年後見制度に対する理解を深める ②成年後見制度等研修会を受講し、市民後見人についての理解を深める。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		広報紙への掲載	回	-	4	4	4	4
		成年後見制度等研修会申込者数	人	-	21	30	40	40
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
成年後見制度の利用が必要な認知症高齢者等が、自立した在宅生活を送れるようにする。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		在宅サービス利用延人数	人	-	6,992	7,000	7,200	7,400

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円			193		300		407		300	
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円		0	193	300	407	300				
	事業費の内訳	千円	報償金	165	報償金	195	報償金	300	報償金	195		
			消耗品費	23	消耗品費	93	消耗品費	93	消耗品費	93		
			食糧品費	3	食糧品費	5	食糧品費	7	食糧品費	5		
			通信運搬費	2	通信運搬費	7	通信運搬費	7	通信運搬費	7		
人件費			3	人件費	50	人件費	50	人件費	50			
人件費計(B)	千円	0	197	197	197	197						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	390	497	604	497						

事務事業名	市民後見推進事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	地域支援事業係
-------	----------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成24年4月の老人福祉法の改正により、市民後見人の育成やその支援体制の整備について、市町村の努力義務として取組むこととなった、国で推進する事業の一つである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国では、認知症施策を推進しているが、加えて、認知症の人の福祉を増進する観点から、市町村において市民後見人を確保できる体制を整備・強化し、それに対し、支援するとしている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成25年9月議会、26年2月議会等で、成年後見制度や市民後見人推進事業について質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 今後、専門職の後見人が不足することが予想されるため、その代わりとなる市民後見人を養成し、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援することは、市の政策体系に合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
市が行わなければならない	理由・改善案 老人福祉法に基づき、市が主体となって実施するものである。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 この事業は、一般市民の人や市民後見人に関心のある人に成年後見制度を深く理解してもらい、最終的には、市民後見人として活動してもらうことを目的としているため、対象を一般市民、市民後見人に関心のある人とし、市民後見人について深く理解してもらうことを意図することは妥当である。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 成年後見制度・市民後見人研修を受講することにより、受講者においては、制度についての理解が深められたと思われるが、広く周知することも必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名	
* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費については、養成講座の謝礼が主であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者は市民であるため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	国からの補助等が終了した際に、本事業は終了する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																							
	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			